

町役場に癒やしの空間を

幸田、きょうカフェオープン

幸田町役場内に三日、町の特産品を味わえる「ハミングバード カフェ」がオープンする。名古屋市中区でカフェを経営する勝田雄介さん(西)＝豊田市鷺嶋町＝が出店し、「ホッとひと息付ける癒やしの空間になれば」と話している。

店を構えるのは、役場一階にある食堂の一角。老朽化に伴い、七月から行われていた全面改装に合わせた。町特産のイチゴと生クリームをふんだんに盛り込んだフルーツサンドイッチ(四百円)やハーブティーなどを提供する。照り焼きチキン、きんぴらごぼつ、レタスなどが



「市」
他社からも同様の請求があれば、額が膨らむおそれがある。
(角野峻也)

「市」
月に契約を締結した当時の計画が有効だと主張。市が

成瀬敦町長(左)に開店への意気込みを話す勝田さん(右)＝幸田町役場で入った各種サンドイッチ(二百円から)もある。

「毎日飽きずにカフェを使ってほしい」との思いから、バターキンカレーやパスタなど日替わりメニュー(六百八十円)も用意した。店で使う急須は、自動車の樹脂部品加工を手掛ける地元の「鈴木化学工業所」製を使う。

勝田さんは「町の特産品を使ったメニューを増やしていきたい」と意気込んでいる。営業は午前十時～午後五時、不定休。
(鈴木渉太)



カフェで使う鈴木化学工業所の急須

特産イチゴのサンド提供 急須も地元企業製